



NO. 938

2013.9.29

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四三、四四五七

JR北海道に原因究明と安全運行を 求める意見書が全会一致で採択される

共産党議員団から議長に要請した「JR北海道の重大事故・トラブルの徹底した原因究明と安全運行を求める意見書（案）」が経済・建設委員会で審議・採択の後、20日の本会議で全会一致で意見書として採択されました。

内容は「JR北海道は度重なる事故に対して再発防止策を国土交通省に提出して整備の不備を認めた。特急の運行停止を含む輸送体制に対し、事故原因の徹底究明と再発防止策を講じ、運行の安全確保を求め、併せて国に対しても車両検査体制を強化し、車両・設備の更新に必要な技術的、財政面での支援強化など」を求めています。

提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣です。

この意見書採択前の19日に函館線の大沼駅で貨物列車が脱線、レールの異常放置が問題になり、その後も170箇所まで広がりました。JR北海道の安全を軽視する体質と事業者まかせの国の責任が改めて浮き彫りになりました。

水道料金の改定内容について

水道料金の改定案の概略を先週書きましたが改めて掲載します。

今回の料金改定は、今までは8m以下が基本料金でしたが、5m以下の基本料金を新たに設け1,170円、基本水量5mを超えて8mまでは1,460円となっています。

改定率は8m以下が5.6%の値上げとなり、8mを超える世帯では1m当たり210円（現行191円）9.9%の値上げになります。

問題は、子育て中の世帯や家族の多い世帯で、20m前後使用することから大きな負担となります。20m使用した場合は基本料金1460円と超過料金2520円の3980円となります。現行では3614円なので10%の値上げとなります。諸物価が上がり収入も少ない中で子育てをし、さらに、来年4月から消費税増税の実施が予想されていて、いっそう厳しい状況に追い込まれます。

日本共産党議員団は「この水道料金改定案は、継続審査となつていて、12月議会で結審することになると思いますが、市民のみなさんご意見を寄せてください」と話しています。



松浦 奮戦メモ

連休中の23日、党事務所で仕事をしていると、玄関で声がしたので出てみると、見たことがあるような顔に逡巡していると、「まっちゃん」と言われ、その声で、「ああー真子さん」と思い出し、七飯から娘さん2人と懐かしい党の事務所を訪ねてきたのです。

実際に30年振りの再会で、当時の古い事務所の思い出など懐かしい話に花が咲きました。当時、高校生と中学生だった姉妹も2人の子持ちで、高校生と中学生の母親となっていました。30年という年月を実感し、私は還暦、真子さんは喜寿になったそうです。

時間が来て玄関で見送りをしているとHさんが事務所に来て玄関前で再開、Hさんも誰か分からず真子さんと告げると「ああー久しぶり」と感激の再開でした。記念写真を撮って見送りましたが、住むところは違っても社会変革の活動を続ける思いは変わりません。

安倍さん、そこまでやるか！ 消費税増税の追加経済対策の 目玉に大企業への東日本大震 災の「復興特別法人税」を1 年前倒しして来年度から廃止 間均等割に1000円上乗せする 納得はいきません。

するといふ。国民には、所得税が今年から25年間税額に2.1%を上乗せし、個人住民税は来年から10年間均等割に1000円上乗せすると言っている、とても納得はいきません。

この法人税、2012年度から3年間に限って税額を10%上乗せするとして、国税と地方税を合わせた実効税率は引き下げの方が上乗せより多いため、実際には負担は増えるどころか減っています。2015年度から大企業の法人税率を引き下げ議論の最中に増税になっていない特別税を廃止とは、大企業の負担軽減しか頭にないひどい政策です。

共産党の市田書記局長「悪代官みたいなやり方だ」と批判の談話をしました。ニュースで歓迎した経団連の米倉会長、自民党に4億円を献金し、その見返りでも言うのでしょうか。安倍悪代官、「越後屋（米倉会長）お主も悪るよのー」という場面が目につかびます。

氷流

13日（金）、東日本被災地に毎月絵本の読み聞かせに出かけて行くブックドクター”伸さん（ほがらか絵本畑）の、「絵本で希望の笑顔を」の講演会と写真展を開いた。●震災が起きて日本中心を痛めているとき読書推進”未夢の会”は、「何かできるか」と、市民に呼びかけ集まってきた絵本800冊を、昨年、伸さんに運んで頂いた。その後の子供たちの様子を報告する中身だ。●子育て真っ最中の方々も参加し、生々しい話に時折涙があふれた。家族を失った子供たちが保育園で、子供を失った保育士さんに見守られながら、絵本に触れ居るという子供たちの笑い声が聞こえるような写真と映像も紹介された。●「現状では想像力がなくなつて落ち着かない子供が増えてるが、全国で一番落ち着いている地域は被災地であり、大人の役割としてこの笑顔を広げていきたい。絵本を読んでる自分が解放された。」と報告した。●日常の不快な心境に追われ愚痴が多く、震災や被災地が薄くなつていくことを自覚せずにはいられなかった。そして”未夢の会”の存在を愛しいと思つた。●原発再稼働、消費税増税、憲法改悪が子供の笑顔と笑い声を奪い取る3悪であり、被災地と関連して反対の署名活動が続ける。（て）